

和歌山南ロータリークラブ週報



WAKAYAMA SOUTH R.C. CLUB WEEKLY

2019年2月 第3週

2018～2019年度
国際ロータリー・テーマ



インスピレーションになる

事務所 〒640-8215 和歌山市橋丁23
N-4ビル 2F

TEL(073)423-8822 FAX(073)423-8821

http://www.wminamirc.jp/

例会場 〒640-8156 和歌山市七番丁26-1

ダイワロイネットホテル和歌山 TEL(073)435-0055

例会日 毎週金曜日 12時30分～13時30分

ガバナー 櫻畑直尚

会長 三木菊夫

直前会長 野村壮吾

副会長 櫻畑国俊

会報委員長 石橋英二

委員 田邊 誠

生駒直也

幹事 柴田哲男

会長レク 山田 守

副委員長 岩橋一博

宮下直子 大野貴廉

2018-2019年度 RI会長 バリー・ラシン

「 BE THE INSPIRATION 」

本日のプログラム

2019年2月15日(金) No.2750

第2806回 例会

- ソング「我等の生業」
- 和歌山東南RCとの合同夜間例会
ダイワロイネットホテル和歌山
18:30～

次週のプログラム

2月22日(金)

- ソング「春よこい」
- 第3回 I.D.M. 発表

会長報告

先週卓話をしていただいた和歌山大学野球部監督大原様から、私の自宅に丁寧なお礼状が届きましたので、皆様にまづご報告いたします。

大原様には、熱のこもった卓話をしていただき、なるほどと思うお話でした。『頑張る』とは、目標に向けて努力することと、必要な我慢をすること。そして、その目標の設定が大切である、ともお話をされていました。日本一という高い目標を掲げて日々頑張っている地元和歌山大学の野球部を、今後とも応援していきたいと思っております。

さて、野球と言えばこの2月1日からプロ野球のキャンプが解禁となっています。CSチャンネルのスカイAでは、阪神タイガースのキャンプの様態を1日中は大げさですが、毎日3～4時間にわたって中継しています。この番組を、見るともなく見るのが私の日課になっています。

ただの練習風景を流す映像の何が楽しいのかと言いますと、この時期は、新加入の選手達を見るのがとても楽しいものです。ドラフトで入団してきた新人選手や、FA宣言をして移籍してきた選手。そして新外国人選手の面々。名前と背番号が一致しないという新鮮味を感じながらどの選手が使いものになるか、活躍できそうなかを見定めるの



が楽しみの一つになっています。今のところ、ベテランの鳥谷、復活期待の藤浪、新人ではドラフト4位の斎藤投手が今年期待の持てそうな選手です。

テレビの画面を見ていてふと思ったのが、このプロ野球選手たちの「職業奉仕」とは何だろう、ということです。「職業奉仕とは、奉仕の心をもって、日々の仕事を全うすること」と自分で整理していますので、野球選手の場合の「奉仕の心」とは誰に向けての思いやりなのかとか、仕事を全うするとは、勝負に勝つということか、自分の個人成績を上げるということか、等々考えをめぐらせておりました。

自分以外の職業の方々の職業奉仕とはどのようなものか、を考えるのも頭の体操になって良いのかもしれません。

本日柴田幹事がお休みです。中RCのお誘いでフィリピンに行っています。2016-2017年度の市内9クラブの『インターシティミーティング合同プロジェクト』で完成した「ランガム・デイケアセンター」を訪問視察が目的です。帰国された際には、その報告をしていただくよう考えています。

幹事報告(代理:北畑博史副幹事)

ニコニコ掲示板に長期交換学生の大瀬ゆゆさんより半年レポートが届いております。彼の地では25年ぶりの大寒波でマイナス30度から40度となり学校も1週間休みとなったそうです。また近隣RCの例会変更の追加分を掲示しておりますので見ておいて下さい。

来週の例会ですが、東南RCとの合同夜間例会となっております。日にちの変更はございませんが、時間が18時30分



前週の報告	2019年2月 8日(金)
出席報告	会員79名(出席規定適用免除会員11名)
2月 8日	出席47名 ホームクラブ出席者59.49%
1月25日	出席総数出席65名(免除会員含み)確定出席率:87.84%
	(会員79名 出席規定適用免除会員11名(内出席6名))

四つのテスト (言行はこれに照らしてから) I 真実かどうか II みんなに公平か III 好意と友情を深めるか IV みんなのためになるかどうか

からとなっておりますのでお間違いの無いようお願いいたします。

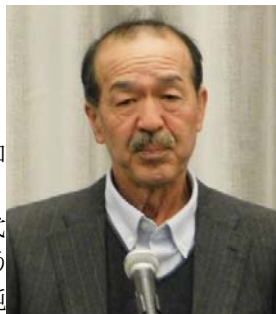
最後に本日例会終了後ロビーにてまず臨時理事役員会をまた終了後60周年記念準備委員会を開催いたしますのでご関係の皆様はよろしくご参集の程お願いします。

委員会報告

雑誌・広報委員会 山本善昭委員
ロータリーの友 紹介

たて組P7～P11にかけて難民を知るとい特集。

横組P4～P8にかけて21世紀世代の人生計画地球と私の運命というタイトルで関学の教授の久木田純さんの記事。



卓話

「製材所の歴史」

雑賀 宅史 会員

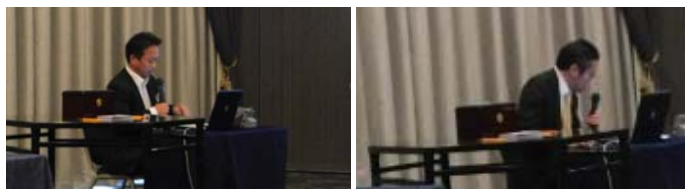
昭和20年～30年代は、戦後の復興等のため木材需要が急増しました。戦争中の乱伐による荒廃や自然災害などの理由で供給が十分に追いつかず、木材が不足し高騰を続けていました。

昭和30年代、好景気を伴う木材需要増を補うため米材・北洋材等の外材が多くなり、製材所が全国に増加しました。特に和歌山市には米材の丸太が多く入荷され、今まで杉を製材していた工場が外材を挽くようになり、全国でも有数の米材製品の生産地になりました。

その後、価格競争の激化がおこり、競争できる製品を市場に供給するためには、量産志向の大規模製材工場、若しくは大規模工場の隙間を埋める小規模製材工場しか生き残れなくなりました。全国の製材工場は、毎年500工場が転廃業していきました。今では、約10分の一に減っています。和歌山市内の製材工場は、転廃業するかプレカット工場や集成材工場、問屋業または小売業等へ形を変えていきました。

2000年代に入り、現在は日本の杉が直視されています。戦後に植栽された杉や桧等の人工林資源が充実し、本格的に利用していく時期を迎えています。木材は「植える」「育てる」「伐る」「使う」のサイクルを確立すれば永続的な生産利用が可能な資源です。国産材の利用を進めることは、資源の有効利用、地球環境の保全、地域経済の活性化等、様々な効果を生み出します。

当社は昭和25年創業で、当時は杉を製材していました。昭和40年頃から今でも米松米材を製材しています。地域社会に貢献するため、昨年約60年ぶりに杉の丸太も挽くようになりました。



卓話

「道」

藤林 正樹 会員

今回新人卓話という事で話させていただきます、株式会社フジシマ不動産の藤林です。職業が不動産業ということで、不動産の中で皆さんの身近なものであり、また不動産を購入する際は十分に気を付けて頂きたい「道路」についてお話させていただきます。

道路には公道と私道、家建てられる道と建てられない(場合がある)道、通行できる道と出来ない道と、見た目は同じような道路なのに様々なケースがあります。

これらの事項は不動産業者が土地の売主となる場合や、お客様の土地を仲介させて頂く場合、契約までに行う「重要事項の説明」に含まれ、正しく説明して当然のことです。しかし、中には十分に調査を行っていない場合や、不利な情報だから伏せておくといったコンプライアンスに反した事を行う不動産業者もいるそうです。

弊社には経営理念等はございませんが、当たり前のことを当たり前に行い、誠実に職務を全うし、お客様からまた別のお客様を紹介して頂けるような仕事を続けることが職業奉仕につながるのではないかと考えています。



2月お誕生祝



ニコニコ箱



奥様誕生日・・・麻生君・雑賀君
事業所創立・・・村上君・山田守君
三木君・・・①楠部会員にタガースカレンダーをいただいて。
②雑賀会員、藤林会員 卓話宜しく。
③戸井会員のホールインワンお祝い。
戸井君・・・ゴルフ同好会2月例会で人生初ホールインワン達成させていただきました。
島村君・・・先日の長女に結婚式にクラブから立派な祝電をいただいて。
雑賀君・・・ゴルフコンペで当月賞でした。
岩井君・・・戸井さんホールインワンおめでとうございます！！
橋本忠美君・・・押し売りされた温泉の本 興味のある方、入口においておきますのでお持ち帰り下さい。
櫻畑君・・・昨日は、大林さんにお世話になりました。